

平成 30 年 5 月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成 30 年 5 月 25 日 (金)

開 會 午前 9 時 30 分

閉 会 午前 11 時 00 分

2. 会 場 茅野市役所 702 会議室

3. 出席委員	教育長	山田 利幸	同職務代理者	矢崎 靖雄	
	教育委員	濱 勝之	教育委員	小林 俊恵	
	教育委員	小平 光子			
	出席者	生涯学習部長	平出 信次	こども部長	牛山津人志
	学校教育課長	有賀 淳一	幼児教育課長	五味留美子	
	こども課長	五味 健志			
	生涯学習課長	藤森 隆	文化財課長	両角 勝元	
	公民館長	矢島喜久雄	スポーツ健康課長	中村 浩明	
	教育総務係長	渡辺 雄一	こども係長	今井 明彦	
	生涯学習係長	伊藤 研一			
	教育総務主事	牛山 紘貴			

4. 傍聴者 3 名

5月定例教育委員会次第

日 時 平成30年5月25日（金）午前9時30分から

場 所 市役所 702会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）市議会6月定例会一般質問について

（2）市議会6月定例会に提出される予定の議案に対する意見について

5 検討事項

（1）総合教育会議の開催について

6 その他

（1）平成29年度相談状況について

（2）平成29年度「早寝・早起き・朝ごはん」について

（3）平成30年度主幹指導主学校訪問について

（4）平成29年度英語教育の状況について

（5）台湾交流事業について

次回定例教育委員会日程について

6月26日（火）午後1時30分「議会棟 大会議室」

（事務局会議 6月14日（木）午前9時00分「705会議室」）

7 閉会

教育長

只今から、5月定例教育委員会を開催します。

前月の4月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

教育長

それでは報告第1号教育長報告をさせていただきます。

1日に諏訪校長会・諏訪教育会役員の3名の方が挨拶に来られました。校長会長が神明小学校の宮坂校長先生、副会長が諏訪南中学校の藤森校長先生です。また、教育会長が岡谷東部中学校の林校長先生です。

豊平小学校英語授業参観に柳平市長と行ってきました。山岡指導主事先生と豊平小学校の女性の先生がTTで授業を行っていました。昨年と比べた時に、一つは先生たちがものすごい自信をつけていました。もう一つは、子供達が一年間の経験で英語にかなり慣れていました。

2日にICT教育の打合せがありました。今年の一つのメインであるICT教育であって、一步一步進めていきたいと思います。

7日に守矢家ご当主様との懇談がありました。生涯学習部長をはじめ、史料館の館長さん方と懇談をし、色々なお話を伺いました。守矢史料館を中心として、大きな構想というものをもう一度見ていく時期になっているのかなと思います。

宮川小学校の1年生、6年生が遠足や地域巡りのコースとして西山一帯を位置づけ、その中で守矢史料館を位置付けてという事でまとめました。この方向性を縄文の遺跡と離れている永明小学校や諏訪市内の学校にも資料を提供していきたいと思っています。

8日に諏訪ソロブチミスト本を寄贈していただきました。

同じく8日に金沢小学校の授業参観があり、今年は豊かな学び合いを昨年までと少し変えました。昨年までは長峰中学校に佐藤学先生がお見えになって、そこに市の私たちが行き、勉強するという形でしたが、4中学校区にそれぞれ1人ずつ「豊かな学び合い学習」の先生を配属し、中学校区ごとに勉強するという形になりました。金沢小学校の場合は長峰中学校区で去年までお見えになられていた長嶋先生が宮川、金沢、長峰中学校の指導をしてくださいます。永明中学校区は佐藤雅昭先生に各中学校区で今の状態にあった形の中でゆっくり授業改善を行い、方向転換しています。

10日に情報教育推進委員会で小学校、中学校の先生方が中心となって進めていくための準備会を第1回目として開きました。

11日に心の四つ葉のクローバープランの打合せがあり、道徳、不登校、いじめ、生活指導の打合せを関係者の方としました。

総合博物館の打合せがあり、今年度30周年になりますが、総合博物館も守矢資料館と同じく、新たな構想の準備がはじまっています。

同じく11日に調べ学習コンクールのスタートとして審査委員会があり、市P連の総会がありました。

12日に早起き野球開式の会がありました。

また、茅野市長杯ジュニアバスケット開会式（女子）がありました。

13日にガールスカウトの入団式がありました。

14日に市校長会と統括コーディネーターの連絡会という事で市内13校から各学校の統括コーディネーターに集まって頂き、業務改善の方法について話し合いを行いました。

15日に永明中学校の英語授業参観があり、永明中学校の先生が個性を活かし、非常に生き生きと行っていました。この授業もほぼ英語でやっており、山岡先生の指導法というもの、とても見事でした。

同日に湖東小学校の授業参観がありました。村佐先生がお見えになりました。

16日に高齢者大学入学式があり、今年は16名の入学者で、女性が14名、男性が2名でした。非常に元気があり、最高齢の方は94歳で矍鑠としていました。

その後に、永明小学校の校長を最後に退職された宮沢先生の叙勲伝達を行いました。

17日に米沢小学校授業参観があり、豊かな学び合いの中学校区単位の授業の一環として、永明中学校区の中で、米沢小学校で授業を行いました。佐藤雅昭先生にご指導していただきました。

18日に永明小中学校業務改善打合せがありました。

保育協会定期総会では、8階がいっぱいになるほどの保育士の先生方が集まられて、今年の出発の会を行いました。

19日に諏訪教育会総会、どんぐりネット幹事との懇談会がありました。

20日に諏訪ジュニア陸上開会式があり、グラウンドが出来て37回目の大会になります。

21日に幼保小連携協議会があり、小学校と保育園の連携教育担当の先生と校長先生が集まり、今年度の方向を話し合いました。

23日に中学校教科書採択委員会があり、中学校の道徳教科書の採択が始まります。

24日に県中体連の挨拶と台湾音楽交流会があり、327名の方が見えられました。本日は議会の開会になります。

26日は小泉山山開きがあります。

27日に土砂災害水防訓練があり、宮川第二保育園を会場に行います。また、守矢家建物視察があり、住居の中を見てみんなで勉強をする予定です。専門の方にもゆくゆくは見てもらふ予定です。

28日に市民館株主総会があります。

29日に宮川小学校読書教育授業参観を市長さんで行きます。また、永明小中建設検討委員会があります。

30日に県教育委員会から永明小中・育ちあいの視察に見えられます。こども家庭支援と業務改善の2つの面から県の方が見ていきます。

報告は以上となります。

次に報告事項第2号、各課から6月の行事予定について報告をお願いします。

[各課から6月行事予定について報告]

資料（報告2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告3号）

教育長

次に議案1号「市議会6月定例会一般質問について」をお願いします。

こども部長

6月定例会は本日から始まります。その中の一般質問ですが、こども部に寄せられた質問は6名の方になります。内容は発言順序3番の伊藤玲子議員から「こどもが幸せに暮らせる教育環境の充実について」ということで、5点の質問をいただいています。「通学路の安全確保について」「学校給食の充実について」「小中学校におけるエアコンの設置について」「子供の豊かな放課後の過ごし方について」「子育て環境と子供の貧困対策の充実について」です。

続いて、発言順序7番の長田近夫議員から「認知症への取り組みについて」ということで「認知症への理解を深める為の教育について」の質問をいただいています。

続いて、発言順序11番の伊藤勝議員から「市内公立高校について」という事で3点の質問をいただいています。「今年の実験者数をどう見ているか」「地域との繋がりを持っている高校生の活動について」「行政の関わりを強めることについて」といった内容です。

続いて、発言順序12番の伊藤正陽議員から「子供の貧困対策について」という事で、3点の質問をいただいています。「生活困窮家庭の子供達の学習、習い事などの生活実態はどうか」「子供がいる生活困窮家庭への経済的支援について」「生活困窮家庭の子供の実態にあった支援について」といった内容です。

続いて、発言順序14番の樋口敏之議員から「保育園統廃合の現状とこれからについて」という事で3点の質問をいただいています。「検討委員会の経過とポイント整理について」「バランスある保育園への入園のあり方について」「まちづくりと統廃合問題について」といった内容です。

続いて、発言順序15番の小松一平議員から「小中学校の部活動について」という事で5点の質問をいただいています。「部活動の実態について」「部活動をどう捉えているか」「部活動に厳しさは必要か」「先生の働き方改革への対応について」「スポーツ庁のガイドラインへの対応について」といった内容です。

こども部からは以上になります。

生涯学習部長

生涯学習課からは4名の議員さんからご質問をいただいています。発言順序3番の伊藤玲子議員から「諏訪大社前宮から諏訪大社本宮にかけての散策マップについて」といった質問をいただいています。

続いて、発言順序5番の山岸正衛議員から「2027年開催の（第82回）国民体育大会について」という事で、冬季の関係になりますが、スピードスケートの誘致を茅野市にできないかといった内容になります。

続いて、発言順序6番の北沢千登勢議員から「八ヶ岳総合博物館の活動を支える基盤づくりについて」という事で、質問をいただきました。

続いて、発言順序10番の小池賢保議員から「図書館について」という事で、もう少し市民の皆さんには利用していただきたいという思いで、図書館全般についてご質問いただきました。

生涯学習課からは以上になります。

教育長

ご質問等ありませんか。

次に議案第2号「市議会6月定例会に提出される予定の議案に対する意見について」をお願いします。

こども部長

議案第30号として提案させていただいていますが、内容は「茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額を定める条例の専決処分の承認を求めることについて」です。専決処分書ですが、3月31日付で専決処分をさせていただきました。

専決の理由ですが、議会を招集する時間的余裕がないため、処分を行ったという事です。

条例改正では大きく2つのポイントがあります。1つ目は国の法改正に基づいて1号認定子どもについて年収360万円未満相当世帯の利用者負担額を軽減したこと、2つ目は

国の改正に伴って２号認定子どもの第４階層の一部で利用者負担額に不均衡が生じ、それを是正するために第４階層の分割を行い、一部の利用者負担額を軽減したという事になります。

金額については、新旧対象表にてご確認ください。

続いて、議案第２－２号になります。

議案第４２号として提案していますが、「茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」です。

提案理由ですが、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、関係規定を整備する必要が生じたため、提案をさせていただくものです。改正内容については、２つあります。１つ目は幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定等の事務・権限を都道府県から指定都市に委譲したこと、２つ目は認定こども園の変更の届出の権限を都道府県から指定都市及び中核市に委譲したといった内容になります。

この改正を行うために、同法３条に２つの項を加えたことにより、一部の項が繰り下がることとなりました。

改正条例の本文ですが、第１５条第１項第２号中「同条第９項」を「同条第１１項」に改めるとし、附則としてこの条例は、公布の日から施行するといった内容です。

教育長

ご質問等ございませんか。

次に議案第２－３号「茅野市一般会計補正予算書」についてお願いします。

こども部長

今回の補正予算の全体ですが、第１条をご覧ください。歳入歳出それぞれ 157,235 千円を追加し、歳入歳出それぞれ 25,027,235 千円とするという事です。

こども部について説明させていただきます。

歳入の関係ですが、県支出金補正欄をご覧ください。教育費県委託金として 40 万円の補正になります。内容については小中学校業務改善加速事業委託金の名目で行うという事です。

続いて、歳出の関係ですが、学校教育総務費の小中学校業務改善加速事業を 40 万円の補正をお願いするものです。内容の報償費 26 万 5 千円の内訳については、学校業務改善検討委員への報酬、信州大学の新井先生をお招きする経費といった内容になっています。

旅費について、7 万 5 千円の内訳については、文部科学省の意見交換会や先進地への視察する経費となっています。

需要費 6 万円については一般的なコピー用紙の購入などに充てていく経費となっています。

続いて、小学校情報教育推進費について 51 万 3 千円の補正をお願いするものです。こちらは、I T C 支援員を新たに雇用することになり、それに関わる経費をお願いする内容です。

こども部については以上になります。

生涯学習部長

生涯学習費ということで市民館費の補正になります。市民館漏水対策工事ということで行っていますが、昨年度 19,786 千円をかけて漏水工事をし、その工事が終わりました。3 ヲ所については新たに漏水しているという事の中で補正額 8,486 千円として工事にあたるといふ事です。

続いて、保健体育費ということで体育施設整備事業費の補正になります。こちらについては茅野国際スケートセンターの傷んでいる部分の修繕をしていくことが主となります。補正額としては 13,228 千円のといふ事で補正をしていきますのでよろしくお願いいたします。

教育長

ご質問等ございませんか。

続いて検討事項に入ります。

学校教育課長

総合教育会議についてですが、教育大綱が今年度までとなります。従いまして来年度に向けて教育大綱を新たに策定していく必要があります。昨年の総合教育会議の中で5次総の関係、また、どんぐりプランや生涯学習部の各プランの関係で体系図の見直しをさせていただきました。今度はそれぞれの計画が出揃った所から計画等を網羅した形で教育大綱の内容をもう一度再検討していく必要があるといふ事でございます。従いまして本年度につきましては、教育大綱の見直しを大きなテーマとして掲げて検討していきたいと考えております。第1回目は8月中を計画し、最終的には2月に教育大綱を完成させていきたいと考えております。このような方向性で良いかご検討をよろしくお願いいたします。

教育長

ご質問等ありますでしょうか。

続いて、その他の1「平成29年度相談状況について」お願いいたします。

こども課長

平成29年度の相談状況がまとまりましたので、報告させていただきます。

延べ3747件、実質件数520件の相談がありました。内容別、形態別、相談対象者別、経路別に相談件数を分けさせていただきました。それぞれの相談件数の考察をしましたので、こちらをご説明させていただきます。

相談件数は家庭児童相談室、教育委員会（家庭教育センターも含む）、こども館、発達支援センター、CHUKOらんどチノチノで相談した件数を集計したものになっています。平成27年度は継続ケースについても、4月にはすべて新規として扱ってきたが、平成28年度からは継続ケースを新規扱いとしないこととしています。新規取扱件数については29年度520件、延べ件数3747件となっています。新規取り扱い件数は減っていますが、継続取り扱い件数は増えております。児童虐待による対応件数や養護環境が整わない家庭に関する取扱件数が増えております。その他については関係者会議件数で、関係機関と連携して定期的に会議を開催することで重大事例の防止を行っております。

続いて形態別相談件数ですが、形態別相談件数で1番多いのは、来室相談でした。庁外（その他）はケースの関係者会議の会議となっています。ケースの格付に基づき、定期的を開催することで件数も増えてきています。

続いて相談対象者人数ですが、件数の多い順でいきますと、幼児一園児一小学生で全体の80%以上を占めております。年齢が上がると、相談件数が減少してくる傾向にあります。

続いて、経路別相談件数ですが、家庭・親戚が一番多く、全体の50%近くを占めています。学校・保育所の相談については、継続的な相談が増えていることもあり経路別の中では件数も多くなっています。児童・本人の相談は、CHUKOらんどチノチノでの中学生や高校生自身の相談と、成人がほとんどとなっています。

続いて、虐待についてです。平成29年度は虐待通告は減少しております。延べ件数が多くなっているのは、昨年度から引き続き継続支援が必要なケースが増えていることや個別ケース検討会議を定期的に開催しているためです。虐待ケースは継続支援が必要であり、簡単には終結できない複雑な要因があります。

続いて、平成28年度と29年度児童虐待の区分別相談件数（実質件数）の比較についてです。

区分としては、心理的虐待が42%と多く、続いてネグレクト、身体的虐待と続いております。心理的虐待が多くなっているのは、家庭内のDVを子どもの面前で行われた場合にカウントすることによるものです。子供が複数いる場合は全員をカウントします。

続いて、主な虐待者ですが全国とほぼ同じで、1番多いのは実父で、2番目に実母となっています。

被虐待児童の年齢ですが0歳から小学生までで88%を占めています。子どもの年齢が低いほど、生命の危険にさらされている度合いが高まっています。市の健康管理センターや保健福祉SC、警察、児童相談所、学校、保育園、幼稚園、医療機関などの教育・福祉、

医療との連携を図っていくことが大切だと思います。近年ではDV等による警察との連携が必要なケースも増えてきています。

続いて、虐待通告経路です。29年度は、DVにより警察→諏訪児童相談所→こども課への虐待通告と安全確認が多くありました。学校からの相談・通告も増えております。

今年、4月にこども家庭総合支援拠点「育ちあいの」の設置をさせていただきました。周知をされる中で、だんだんと相談が増えてきております。引き続き保護者の方々や、子ども達が安心して健やかに暮らせるようにサポートしていきたいと思います。

教育長

ご質問等ございませんか。

私から一点質問をさせていただきます。内容別の相談件数になりますが、養護相談とはどのようなものなのか、教育委員さんはわからないと思いますので説明をお願いいたします。

こども課長

子どもの虐待の相談を受けていたり、支援が必要という事で相談を受けているものになります。

教育長

その他の養護相談が増えているという事で、保健相談や障害相談など分類が今までのものではできないケースが出てきているのではないかと思います。養護相談の増加という中で育ちあいのを支援体制の出発点に見ていかなければと感じます。

続いて、その他2「平成29年度 早寝・早起き・朝ごはん」についてお願いします。

畑中教育指導主事

【概要】

調査対象：市内全小中学校児童生徒

回答数：小学生 2,881名 中学生 1,432名

調査期間：平成30年1月10日～1月31日の生活をもとに2月第1週で調査実施

【平成29年度の調査結果と経年変化の様子】

(1)起床時刻

中学生は変化ないものの、小学校での早起き傾向が若干鈍ってきた兆候がうかがえ、特に低学年でその傾向が強い。休日も同様の傾向である。

(2)就寝時刻

小学生の就寝時刻が年々遅くなる傾向にあり、特に小1から小2の低学年でその傾向が強い。小4以降には大きな差異傾向はみられない。休日においても同様の傾向が見られる。

(3)食育は誰と一緒に

子どもだけ（一人も含む）割合が小学校で30%、中学校で50%と高い割合を示している。「朝食をとらない日が多い」と答えた子どもは、小学生で1%、中学生で4%である。

（平成29年度 全国学調での同様主旨調査では小4.6%、中6.8%）割合的には少ないものの、実人数で小学生25人程度、中学生60人近くがいることになる。各学校で実態調査を把握し、個別に指導や支援を考えていく必要がある。

(4)朝食をとらない理由

朝食をとらない理由について、顕著な経年の変化は見られない。小中ともに、「時間がない」「食べる気がしない」が主な理由となっている。一方、割合的に少ないものの、「用意されていない」という回答があることと、それが小学生段階で多いことが課題である。休日においても同じ傾向である。

(5)12時過ぎに起きている理由

小学生の理由の内、「ゲームをしていた」という回答の割合が高いのが気になる。平成25年度以降、急激に増えており、今後もこの傾向が続くとみられる。中学生においては、「宿題や勉強」という回答の割合が高い。調査が1月・2月であったため、受験を控えた中学3年生の結果が大きく反映していると思われる。

【平成29年度 中学3年生の小学1年生からの変化】

本年度でこれまでの調査を一旦休止するため、過去にさかのぼって1つの学年の子どもたちの年齢による変化の推移を見てみた。

夜10時以降の就寝を見ると、小学5年生以降急激に遅くなる傾向にある。また、小学生の時期と中学生の時期を比べると、大きな段差が生じている。部活動等の関係で、起床時刻は若干中学生のほうが早くなっているため、この時期のギャップがかなり激しいことになる。休日も同様の傾向にある。

【早寝・早起き・朝ごはん 運動の推進に関わって】

(1) 小学校低学年での生活づくりが重要であること

起床時刻や就寝時刻が遅くなる傾向は、この12年間で、小学1年生と小学2年生の段階の変化が大きいことが分かった。小学3年生以降の段階では大きな変化が見られなかったことから、低学年時期での子どもへの指導や家庭への啓発活動及び支援が重要とみられる。

（２） 中学校入学期の変化への適応指導が重要であること

これまでも、「中一ギャップ」として、この時期の指導の重要性が叫ばれてきたが、起床や就寝・朝食といった基本的な生活習慣も、小学６年から中学１年にかけて大きく変化することが明らかとなった。変わる生活リズムへの適応をスムーズに行うためにも、受け入れる側である中学校のテンポをゆっくりとさせた対応の工夫や、子ども自身への健康安全に関する指導、家庭への啓発的支援に重点を置くことが大切であると考えている。

教育長

ご質問等ございませんか。

いて、その他の３「平成３０年度主幹指導主事学校訪問日程について」をお願いします。

学校教育課長

先ほど日程のほうでもお話しましたが、６月２２日から北部中学校をはじめとし、１０月の２日の東部中学校まで開催されます。本年度、形式が昨年と変わっています。本年度はすべての学校で半日日程による訪問になりました。従いまして、午前中訪問は８時４０分から１２時まで。午後日程は１３時１０分から１６時５０分までというふうになっています。

また、各校からの案内通知におきまして訪問時間等の確認をお願いしたいと思います。担当教育委員さん方におかれましては、こちらに書いてあります通りです。日程等都合が悪い場所がありましたら、担当の者にご連絡をいただきたいと思います。なお、昼食を希望される場合は事前にご連絡をいただきたいと思います。給食を食べる場合は午前中の学校で食べていただく形になります。

なお、１０月２日に関しましては、未定となっております。

教育長

ご質問等ございませんか。

続いて、その他の４「平成３０年度英語教育の状況について」をお願いいたします。

学校教育課長

本年度は秋先生に代わり、山岡指導主事が英語教育の担当という事で各校を今現在まわっており、それぞれ指導をしている状況です。根本は子どもたちが楽しく、英語を学べる環境をつくっていくという事になっています。そのために山岡先生のほうでは聞く・話すというところに重点をおいてご指導をなさっています。また、その中で昨年度、秋先生のアンケートの中で非常に英語が好きになったという事がありましたが、一つ今後の検討材料として子どもたちが英語を使う機会がなかなか無いというようなことがありました。そのようなことを捉えていく中で山岡先生は色々と授業を工夫なさっていただいております。一つは、英語を使う機会を小中共に逃さず、子どもたちに我々に英語をつかってインタビ

ューをさせるといった機会を逃さないための工夫をされていました。また、山岡先生の方で計画をしていますが、小学生イングリッシュキャンプを夏休みの期間中に開催することで、現在募集をかけているところです。こちらは8月の2・3日に50名の募集をしているところです。また、11月17日に小学生の英語スピーチのコンテストを開催する予定となっています。このようなことで子どもたちの「聞く・話す」を実際につかってみるというような活動を主にやっていくところです。また、先生たちに英語の力を付けていくという部分があります。そちらに関しては、山岡先生が毎日学校の方に行き、先生たちの指導を通して、先生たちの力を上げていくような活動をしております。

教育長

ご質問等ございませんか。

次にその他の5「台湾交流事業について」お願いいたします。

学校教育課長

昨日ですが台湾の音楽交流にご参加いただき、ありがとうございました。

当日入場者数327名という事で、平日としてはかなり入って頂けたかなと思います。前半は歓迎の章という事で、各中学校のブラスバンド部に演奏していただき、後半は台湾側に管弦楽の演奏をしていただきました。同じような音楽ですが、管弦楽とブラスバンドでは違いがあり、子どもたちの捉えとしては、台湾のものが直接自分たちの参考になってはいない部分があるかと思いますが、その他にあのような場所で演奏できる機会は中々ないと思います。子どもたちもそういった所でまた演奏したいというような意識はありました。ただ、中には大舞台で緊張してしまい、体調を崩されたお子さんもいたようです。また、バックヤード等で子どもたちのカバンをしっかりと並べている姿や、部長さんがしっかりと指示をして整列をさせていた姿をみて非常に感心をしました。

これからもより良い台湾交流が築いていけたらと思います。

また、今度の中学校台湾交流事業ですが、10月28日から11月の1日までの4泊5日で行う予定となっています。6月中に各校から6名ずつの選考を行いまして、7月中に説明会、9月に結団式を経て5、6回の事前学習の後に渡航をする予定です。また、年内に報告会を開催したいと考えております。結団式、報告会には教育委員さん方のご出席をお願いいたします。台湾側からは1月になると思いますが、こちらにお見えになれる予定です。

学校教育課からは以上になります。

幼児教育課長

先ほど行事予定でも確認させていただきましたが、6月20日から23日まで高雄市を訪問させていただきます。今回の訪問は、今年の1月18日19日に台湾高雄市の教育局の方が保小中の視察にお見えになられ、ちの保育園を視察したことがきっかけとなっています。ちの保育園のキーワードとして「笑顔あふれる保育園」を掲げていますが、取組み内容の意見交換を行いました。今回の訪問は、日本から、上田女子短大付属幼稚園、東京都の藤井幼稚園、埼玉県のと山梨県のと公立として茅野市からちの保育園が参加をする予定です。それぞれテーマに沿って園での取組を発表させていただきます。ちの保育園では幼児社会学習というテーマをいただいています。私の方では「幼稚園、保育園等の経営と教育理念」のテーマに基づくパネルディスカッションに参加させていただく予定です。高雄市の保育園では一人一人の幼児の才能を見つけて、その才能を伸ばしていくということをととても重要視しています。同年代の交流が多く、異なる年齢との交流が少ないということのようですが、茅野市では、異年齢交流や、地域交流、遊びを通して相互の関わり合いの中で社会性を身に付けていくことを大切にしており、考え方にも違いを感じています。今回の訪問では、その部分も学んできたいと考えております。幼児教育課からは以上です。

教育長

ご質問等ございませんか。

最後に日本遺産についてお願いします。

文化財課長

昨日になりますが、日本遺産に長野県と山梨県で合同で申請しました「星降る中部高地の縄文世界」が認定されました。長野県におきましては、諏訪6市町村と長和町・川上村が対象の市町村となります。「星降る」とは、我々の祖先が夜空に瞬く無数の星を見上げ、黒曜石のカケラを大地に積もった星のカケラと信じて生まれた、星糞や星ヶ塔など黒曜石鉾山のある地名に由来しています。国からは補助金が出るわけですが、それを活用しまして、この地域で事業を展開していくことで今後進めていきたいと思っています。以上になります。

教育長

ご質問等ございませんか。

それでは来月の定例教育委員会の日程についてお願いいたします。

教育総務係長

来月6月の日程について確認したいと思います。

6月の定例教育委員会は26日火曜日の午後1時30分から議会棟の大会議室で行います。それに先立ちまして、事務局会議を14日木曜日の午前9時から705会議室で行います。

教育長

以上で5月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

平成30年6月26日

茅野市教育委員会

教育長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長